

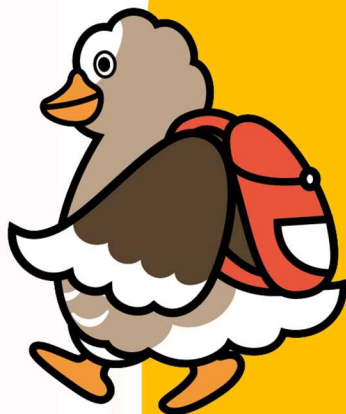
宮城県大崎市



ふるさと納税の活用実績

～令和6年度～

大崎市公式キャラクター
バタ崎さん





「応援」



「挑む」



「創る」



「守る」

大崎市では、皆様からいただいた"ふるさと納税"を、
4つの用途に分けて活用しています。

「応援」 使い道を特定せず大崎市を応援

日本語学校推進事業や国内都市交流事業など12事業に、約9,400万円を使わせていただきました。



ふるさと納税寄附金を活用した主な事業

● 日本語学校推進事業（約440万円）

本州初となる公設公営の日本語学校の開校準備に向け、教材備品や庁用備品の購入に活用しました。

※令和7年度から大崎市立おおさき日本語学校を開校し、台湾やベトナムなどから合わせて28名の方が入学しました。

● 国内都市交流事業（約180万円）

東北新幹線の開通を機縁に姉妹都市提携を結びました
東京都台東区と提携40周年記念事業を実施しました。

ほか
活用事業

鳴子温泉地域の市営バス運行（約1,500万円）
吉野作造記念館開設30周年記念事業（約130万円）など



「挑む」 持続可能なまちづくりを推進するための事業

陸羽東線利用促進対策経費や世界農業遺産推進事業など11事業に、約4,800万円を使わせていただきました。



ふるさと納税寄附金を活用した主な事業

● 陸羽東線利用促進対策経費（約170万円）

陸羽東線の利活用促進のため、沿線地域を活性化させる事業を展開する団体や、団体で陸羽東線を利用する場合の乗車料金の助成をしました。

● 世界農業遺産推進事業（約1,160万円）

大崎市が誇る世界農業遺産「大崎耕土」の普及啓発活動への取組支援を行いました。

ほか
活用事業

空き家対策（約410万円）
ささ結びのPR（約460万円） など



「創る」 地域産業を振興するための事業

シティプロモーション事業や産業推進機構連携事業など12事業に、約8,300万円を使わせていただきました。



ふるさと納税寄附金を活用した主な事業

● シティプロモーション事業（約360万円）

大崎市について、より多くの人に知っていただくため、東京ガールズコレクションに参加したほか、SNSを活用して大崎市の魅力を全国に発信しました。

● 産業推進機構連携事業（約500万円）

ビジネスプランコンテスト事業として「おおさきオープンイノベーションピッチ」を開催し、新たなビジネスの創出の促進と起業・創業を支援しました。

ほか
活用事業

観光施設の維持管理（約1,700万円）
半導体産業の立地推進（約470万円） など



「守る」 安全・安心・住みやすさを創出するための事業

子育て支援図書充実事業や田んぼダム推進事業など44事業に、約9億3,300万円を使わせていただきました。



ふるさと納税寄附金を活用した主な事業

● 子育て支援図書充実事業（約400万円）

子育てを応援する育児書や子どもたちに楽しんでもらう児童書、絵本等を購入したほか、子育てママの復職を応援する「復職応援セミナー」や、小さな子どもさんと保護者を対象に図書館の休館日を利用した図書館開放事業「ようこそきらきら図書館」を開催しました。

● 田んぼダム推進事業（約360万円）

流域治水の一環として、近年多発する豪雨被害時の洪水被害の軽減を図ることを目的に、水田の貯水機能を活用した「田んぼダム」の取組を推進しました。

ほか 活用事業

学校給食で地場産食材の活用（約5,800万円）
放課後児童クラブの整備・支援（約6,200万円）など





大崎耕土
世界農業遺産
OSAKI
KOUDO
GLOBALLY IMPORTANT
AGRICULTURAL
HERITAGE SYSTEMS



たくさんのあたたかいご支援をいただき、
ありがとうございました。

